



# 学校だより

令和5年10月31日

11月号

学校教育目標  
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



## 「自分たちでつくる運動会」

副校長 山田 太一

空が澄み清々しい秋空が広がる季節となりました。朝夕の冷え込みも一段と進み、冬の足音が近づいてきていると感じます。

さて、10月13日（金）に秋日和の中、第113回運動会を実施することができました。保護者の皆様には、体調の管理をはじめと様々ご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。地域の皆様にも温かく見守られ、当日もたくさんのご声援をいただき、子どもたちにとって大きな励みとなりました。受付の際に「やっと孫の運動会をみることができると嬉しそうに話す方がいらっしゃったと聞いています。多くの方が楽しみにしてくださっていたことに改めて気づかされました。また、当日は学援隊の皆様や保護者ボランティアの皆様にも運営面で幅広くご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。入場制限のない運動会は、わが子の応援だけでなく日枝っ子みんなへの応援となったことでしょう。

今年の運動会は、4年ぶりに全校で開催することができ、コロナ前までの活気が戻ってきた印象があります。子どもたちが全力で取り組む姿、思い切り楽しむ姿、大きな声で応援する姿等、素敵な場面がたくさんありました。特に5・6年生の活躍が目立っていました。「目指せ 全力団結 たいよう」というテーマに沿った運動会になるよう運動会特別委員会が中心となって準備を進めてきました。当日も開会式・閉会式での司会進行やプログラムの放送、退場の誘導等、子どもたちが中心となって運営に携わる姿がたくさん見られました。話を聞く態度や応援する様子など、高学年として下学年をリードし活躍する姿も多く見られました。「6年生みたいになりたい」と下学年の子どもたちの憧れの存在として映ったと思います。自分のためだけでなく人のために力を発揮する姿が、全校の子どもへと伝わり、日枝小学校の新たな伝統をつくっていつてくれるのだと感じました。一方で、運動会は、運動が苦手な子どもにとっては、なかなか気持ちが前向きになれないものでもあります。練習の時からつらい思いをしていた子も中にはいたと思います。競技の在り方を工夫したり、友達同士で励まし合ったり認め合ったりすることで、誰もが楽しめる運動会を今後も目指していきます。

学校では、日々の授業を通して「学びに向かう集団づくり」に力を入れています。日頃培ってきた主体性や仲間と協働的に学ぶ姿勢が運動会という行事においても生かされていたはずで、そして、行事を通して、みんなとつながることの喜びを実感することで、集団としての質をさらに高めたり、自分自身の成長につなげたりすることができると思います。今後も授業や行事等、様々な教育活動を通して、子どもたちが成長する場面をたくさんつくっていきたいと考えています。

